8. 関係機関等との連携の実態

菅井裕行

8-1 保護者との連携

表8-1は、保護者との連携の実態を示している。全 有効回答数725件のうち、「保護者がいつでも指導場 面を参観できるようにしている」は400件(55.2%)、 「年に数回、保護者の指導場面の参観機会を設けてい る」は503件(69.4%)、「保護者と一緒にビデオを見 て指導方針を確認・共有している」は51件(7%)、 「その他」が100件(13.8%)であった。ほぼ半数以 上の学校が保護者に対して参観の機会を提供してお り、病弱養護学校を除くすべての学校で半数近くが 「いつでも参観ができる」体制を整えていることがわ かった。「保護者と一緒にビデオを見て指導方針を確 認・共有している」割合は1割にみたないが、その 中でも知的障害養護学校で28校、肢体不自由養護学 校で14校と二桁の数の学校が保護者とのより密接な 確認・共有作業を行っていることは特筆に値すると 思われる。各学校種別にそれぞれの項目の構成比を 見ると、学校種間でそれほど大きな開きはなく、ど の学校種でも似たような分布状況であった。

8-2 医師や福祉機関職員との連携

表8-2は、医師や福祉機関職員との連携に関する実態を示している。連携先として最も多いのは、534件 (84.6%) で医師。ついで319件 (50.6%) でPTやOT であった。さらに看護婦が163件 (25.8%)、その他が148件あり、そして言語聴覚士が146件 (23.1%)、

視能訓練士が24件(3.8%)であった。学校種別ではそれぞれの障害種に関係のある専門職種との連携が目立っている。盲学校では視能訓練士が16件(37.2%)あり、聾学校では言語聴覚士が23件(41.1%)、肢体不自由養護学校ではPT・OTが126件(86.9%)、病弱養護学校では医師についで看護婦との連携が63件(81.3%)で高い割合を示している。また、知的障害養護学校でPT・OTが148件(47.7%)、肢体不自由養護学校で看護婦が69件(47.6%)、さらに言語聴覚士が60件(41.4%)と高い数値を示した。その他の内容や連携の中身については、記述式回答に依っており、それらのデータは今後の分析によって明らかにされるものと思われる。

8-3 寄宿舎との連携

表8-3は、寄宿舎との連携の実態を示している。全体としては「健康の状態等、その日の様子について、毎日連絡をしている」が229件(72%)、「個別指導計画の作成に参加してもらっている」が20件(6.3%)と少なく、「定期的に話す場を設け、指導方針を確認し、共有している」が153件(48.1%)、「必要に応じて話し合いの場を設けている」が208件(65.4%)であった。その他が36件(11.3%)あった。内容的には多い順では「毎日の連絡」「必要に応じての連絡」「定期的連絡」の順であった。この分布状況は学校種間で大きな変化はない。

±0.4	/D =# +# 1	~ '+#
表8-1	保護者と	(ノ)1里持ち

	件 数	ようにしている導場面を参観できる保護者がいつでも指	を設けている 指導場面の参観機会 年に数回、保護者の	確認・共有オを見て指導方針を保護者と一緒にビデ	その他	無答	有効回答数
승 함	753	400	503	51	100	28	725
		55. 2	69. 4	7	13. 8	3. 7	96. 3
盲学校	61	32	33	3	11	2	59
自于权		54. 2	55. 9	5. 1	18. 6	3. 3	96. 7
聾学校	81	54	54	2	9	2	79
五十八		68. 4	68. 4	2. 5	11. 4	2. 5	97. 5
知的障害養護学校	381	206	259	28	51	13	368
		56	70. 4	7. 6	13. 9	3. 4	96. 6
肢体不自由養護学校	150	76	103	14	20	6	144
		52. 8	71. 5	9. 7	13. 9	4	96
病弱養護学校	80	32	54	4	9	5	75
/P/沙技·技·大仪		42. 7	72	5. 3	12	6. 3	93. 8

表8-2 医師や福祉機関職員との連携とその内容

	件 数	医師	P T O T	言語聴覚士	看 護 婦	視能訓練士	そ の 他	無答	有効回答数
合計	753	534	319	146	163	24	148	122	631
		84. 6	50. 6	23. 1	25. 8	3. 8	23. 5	16. 2	83. 8
盲学校	61	31	13	2	0	16	10	18	43
		72. 1	30. 2	4. 7	_	37. 2	23. 3	29. 5	70. 5
聾学校	81	48	4	23	1	0	15	25	56
基于 权		85. 7	7. 1	41. 1	1. 8	_	26. 8	30. 9	69. 1
知的障害養護学校	381	251	148	56	30	7	76	71	310
		81	47. 7	18. 1	9. 7	2. 3	24. 5	18. 6	81. 4
肢体不自由養護学校	150	133	126	60	69	1	31	5	145
		91. 7	86. 9	41. 4	47. 6	0. 7	21. 4	3. 3	96. 7
病弱養護学校	80	71	28	5	63	0	16	3	77
		92. 2	36. 4	6. 5	81.8	_	20. 8	3. 8	96. 3

表8-3 寄宿舎との連携

	件 数	毎日連絡をしている日の様子について、の状態等、その	いる に参加してもらって 個別指導計画の作成	し、共有しているけ、指導方針を確認定期的に話す場を強認	いの場を設けている必要に応じて話し合	その他	無 答	有効回答数
合計	753	229	20	153		36	435	318
		72	6. 3	48. 1	65. 4	11. 3	57. 8	42. 2
盲学校	61	39	4	25	45	4	3	58
目子权		67. 2	6. 9	43. 1	77. 6	6. 9	4. 9	95. 1
聾学校	81	41	0	24	40	3	23	58
		70. 7	_	41. 4	69	5. 2	28. 4	71. 6
知的障害養護学校	381	101	6	74	79	14	258	123
		82. 1	4. 9	60. 2	64. 2	11. 4	67. 7	32. 3
肢体不自由養護学校	150	40	8	26	36	7	87	63
		63. 5	12. 7	41. 3	57. 1	11. 1	58	42
病弱養護学校	80	8	2	4	8	8	64	16
		50	12. 5	25	50	50	80	20